

担当教員：小島

2019年度人間環境学部キャリアチャレンジⅡ期

コース名：「東京の森と都市をつなぐ“木育”普及プロジェクト・インターン」

1. 目的

山梨県を源流として東京湾に注ぐ多摩川流域には山村から大都市まで様々な地域があります。多摩川上流域の東京都奥多摩町は豊かな森林が広がる東京都の水源地域です。しかし、下流域の都市への、水をはじめとする多様な生態系サービスを保全するためには、地域をこえた関係性の構築が不可欠です。

そこで本コースは、奥多摩地域の森林の保全事業、特に木材の東京都市部における利用を促進するソーシャル・ビジネスに取り組む企業への研修を通して、持続可能な地域社会を担うビジネス人材を想定したキャリア形成への機会とします。もちろん、自治体職員やその他公的機関、NPOなどで活躍人材も想定しています。

2. 受け入れ団体

株式会社東京・森と市庭（ <http://mori2ichiba.tokyo.jp/> ）

※人間環境学部OBの菅原和利さん（2010年卒）が営業部長として、奥多摩の森と都市をつなぐソーシャル・ビジネスを展開しています。

3. 対象学生と条件

2019年度の2～3年生及び2020年度、2年次に進級予定の2019年度の1年生を対象とします。法政大学人間環境学部の学生としてソーシャル・ビジネスのミッションを理解し、誠実に研修に取り組む意欲があることが必須条件です。

4. 対象人数

3名とします。

5. 実施日・実施場所と研修の概要

木材の産地である東京都奥多摩町と東京都港区の六本木オフィスに通いながら、東京都町田市内の団地における防災イベントを利用した木育普及プロジェクトの企画運営に携わります。全行程、日帰りです。

実施日と実施場所は以下のとおりです。

2月：①2月12日（水）、②13日（木）、③19日（水）、④20日（木）、⑤26日（水）

3月：⑥3月6日（金）、⑦7日（土）、⑧8日（日）、⑨11日（水） 合計9日間

※2月12日・20日・26日が奥多摩本社、2月13日・19日、3月11日が六本木オフィス、3月6日・7日・8日が町田市の町田山崎団地です。

※行程は、プログラムの企画運営上の都合により変更になることがあります。

※学生の出勤に配慮して、奥多摩本社は10時以降の集合を予定しています。

6. 費用

現地までの交通費と昼食費です。

7. 選考から研修への流れ

①2019年12月16日（月）～2020年1月10日（金）：募集期間

※応募手続きは、人間環境学部のウェブサイトを確認してください。

②2020年1月11日（土）～13日（月）：書類選考期間

※志望調査票に基づいて第1次審査（書類選考）を行います。

③2020年1月14日（火）：面接対象者の発表（掲示とメール）

※第1次審査をパスした第2次審査（面接選考）の対象者は、BT24階のキャリアチャレンジ専用掲示板または小島掲示板で掲示し、かつメールか電話で連絡します。

④2020年1月15日（火）～1月22日（水）：面接期間（詳細は未定、後日発表）

⑤2020年1月24日（金）：研修生発表（掲示とメール）

⑥2020年1月31日（金）

※時間・場所は別途連絡します（定期試験に配慮します）。

※研修生はインターンシップ保険に加入します（学生がキャリアセンターで手続き行いますが、費用は大学が負担します）。

⑦2020年2～3月：研修

⑧2020年4月：事後研修（詳細は未定、後日発表）

8. 説明会

2019年12月19日（木）12：40～13：00 BT24階人間環境学部会議室

※担当教員に事前連絡をしてくれると対応がスムーズになりますが、事前連絡なしでもかまいません。

9. 問い合わせ先

何か問い合わせたいことがある場合は、担当教員の小島（skojima@hosei.ac.jp）までメールでお願いします。